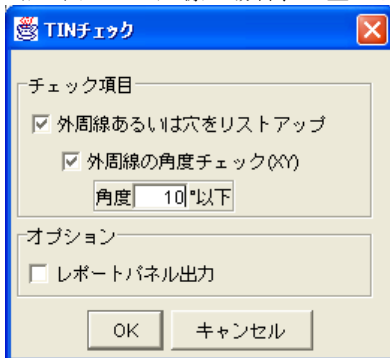


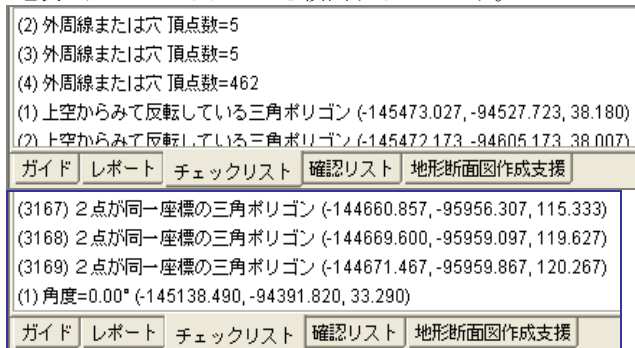
TIN チェックに外周線の角度チェックを追加し、三角ポリゴンの突出や切れ目が検出しやすくなりました
 以下は、操作説明書からの抜粋です。

【TINチェック】 (GeoCoach3D の機能です)

TIN の三角ポリゴンを囲む外周線と穴を検出し、表示します。穴や重複、上空からみて反転している三角ポリゴンがなければ、外周線のみとなります。作成した TIN あるいはファイルからリードした TIN が対象です。複数の TIN ファイルがリードして、ファイル間のずれの有無をチェックすることもできます。また、三角ポリゴンの3点が同一XYZ座標の場合、あるいは2点が同一XYZ座標の場合、上空から見て反転している場合、その位置もリストアップします。



【外周線の角度チェック】 外周線あるいは穴の点列について、指定された角度より小さい点をリストアップします。XY 平面上での角度を調べます。針のような三角ポリゴンが外側に出ているケースあるいは内側に細い亀裂が入っているケースを検出するためです。



チェックリストには最低ひとつの「外周線または穴」をリストアップし、ひとつの場合、外周線になります。複数の場合、頂点数が多いものが外周線です。頂点数が少ないものが TIN の穴や重なり of の恐れがあります。頂点数が少ないほうから表示します。

チェックリストの項目を選択すれば、外周線あるいは穴のループ上の点を参照点にします。また、[座標値]パネルに、座標を表示します。